

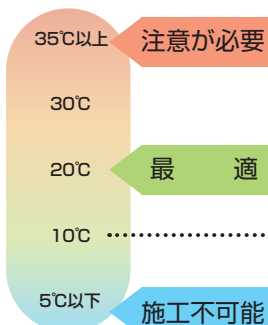
施工のポイント

1.作業環境の確保

保管～施工～養生まで

- 5℃以下(気温・下地)にならないこと
- 急激な温度変化がないこと
- 水濡れ(降雨など)がないこと

気温・下地



床材が柔らかくなり蛇行したりシワが発生しやすくなります。エポキシ系接着剤は主剤と硬化剤を混合すると硬化しますので使用する分だけ混合してください。接着剤の**オープンタイム**・張り付け可能時間は短くなるのでスピーディに作業してください。

接着剤が硬化するまで(1～2日)施工した温度で養生してください。また**端部処理材**が硬化するまで(2～3日)踏まないでください。

床材は硬くなり、下地に馴染みにくくなるので、予め施工する部屋を暖房して床材と接着剤を1日養生してください。

製品を5℃以下(気温・下地)で保管・施工・養生しないでください。(冬期などは特にご注意ください。)
5℃以下(気温・下地)になると製品の品質が変化したり、接着剤やシール材の硬化不良、接着力低下、テープの粘着力低下などの不具合が起こることがあります。

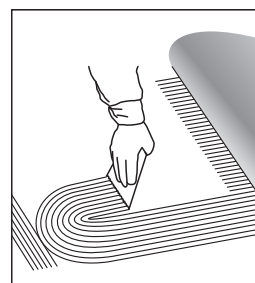
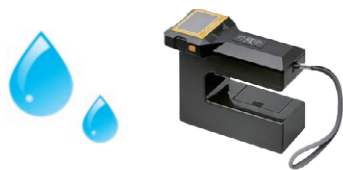
2.下地の確認・清掃

下地の水分が十分に乾燥するまで養生が必要です。必要に応じて下地の湿気をチェックしてください。

3.割り付け・仮敷き

4.接着剤の塗布・オープンタイム

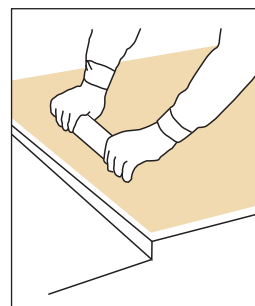
接着剤に添付してあるクシ目ゴテを使用して、のり溜まり、欠損部が生じないように、所定の塗布量を均一に塗布してください。**欠損部があると、施工後にフクレ**として現れたり、**のり溜まり部は、ガスフクレ**が生じることがあります。**接着剤の塗布量が少ない**と接着剤の乾きが早くなり、床材との接着面積が少なくなって、継目、壁際などの**剥れの原因**となります。クシ目ゴテの山が擦り減って小さくなった場合は目立てを行ったり新しいクシ目ゴテと取り替えてください。塗り床下地、金属下地の様に**表面が平滑で吸水性がない下地の場合**は、クシ目ゴテの山高さを**3/4程度**にして接着剤の塗布量を少なくするか、**オープンタイムを長く**してください。接着剤塗布後のオープンタイムは、接着剤の種類、下地の材質、塗布量や気温、湿度、風通しなどによっても左右されます。**オープンタイムを短く**して床材を張り付けると床材と接着剤との接着面積は大きくなり接着強度は高くなりますが、**ガスによるフクレが発生しやすくなります**。反対に**オープンタイムを長く**して床材を張り付けると、フクレは発生しにくく、納まりは良くなりますが期待する接着強度が得られず、**施工後に床材の剥れの原因**になります。適正なオープンタイムを取ってください。



5.張り付け・圧着

床材を張り付けた直後にしごき棒やローラーでいねいにエア抜きを行い、圧着してください。特に継目、壁際、柱周辺はハンドローラーで十分圧着させ、床材と接着剤の接着面積を広くしてください。

圧着が不足すると施工後に継目、壁際などの端部から剥れ、目地の突き上げ、床材表面にクシ目ゴテの模様が生じます。継目、壁際、柱周辺などの裁断やローラー圧着は、床材を張り付けた直後に行ってください。裁断やローラー圧着が遅れると接着剤の乾燥や硬化が進み、接着強度が低下してフクレや剥がれの原因になります。

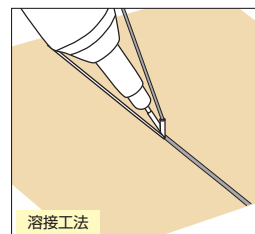


6.養生(接着剤硬化:1～2日)

接着剤が硬化して接着力を発揮するまでには通常1～2日必要です。接着剤が硬化するまでは直射日光など**急激な温度変化を与えないでください**。土足での通行をひかえ、養生シートを敷いて床材を汚さないようにしてください。特に重量物を運搬する場合は、ベニヤ板などを敷いて養生を行ってください。

7.継目処理・端部処理

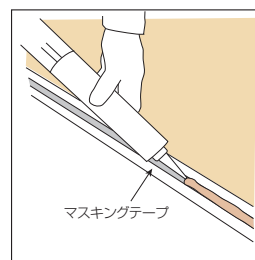
継目処理は溶接工法またはシール工法で、端部処理はシール工法で行ってください。接着剤が硬化するまで1～2日養生させてから行ってください。シール工法は端部処理材が硬化するまで踏まれないよう養生してください。(2～3日以上)



溶接工法

8.養生(シール材硬化:2～3日)

シール材が硬化するまで2～3日養生させてください。シール材が硬化するまでは触ったり踏んだりしないように注意し、重量物の運搬などはシール材が硬化した後、ベニヤ板などを敷いて車輪の跡形や傷を付けないように行ってください。屋内で使用する場合は換気を行い、引き渡しまでに数日期間を設ける等の配慮をしてください。



マスキングテープ

試験データ
P.196

法規関連
P.218

工法・下地
P.229

施工手順
P.247

接着剤・副資材
P.314

副資材
品番一覧
P.328

メンテナンス
注意
P.333